

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第7区分  
 【発行日】令和4年1月11日(2022.1.11)

【公開番号】特開2020-97466(P2020-97466A)  
 【公開日】令和2年6月25日(2020.6.25)  
 【年通号数】公開・登録公報2020-025  
 【出願番号】特願2018-235756(P2018-235756)  
 【国際特許分類】

B 6 5 H 7/12 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 7/12

G 0 3 G 21/00 3 8 4

G 0 3 G 15/00 4 8 1

【手続補正書】

【提出日】令和3年12月6日(2021.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

搬送パスを搬送されるシートに画像を形成する画像形成手段と、  
 シートが複数枚重なって搬送される状態を検知する重送検知処理を行うための重送検知手段と、

シートの種類に対応して、前記重送検知処理を有効にするか或いは無効にするかの設定が予め格納される格納手段と、

選択肢として前記格納手段に格納されている設定に基づいて前記重送検知処理を有効にするか否かを決定する自動モードと前記格納手段に格納されている設定に拘わらず前記重送検知処理を有効にするオンモードと前記格納手段に格納されている設定に拘わらず前記重送検知処理を無効にするオフモードとを含む重送検知設定情報、及び画像形成に使用するシートの特性に関する特性情報を含む用紙設定情報を設定する設定手段と、

画像形成に使用するシートの種類と該シートの種類に対応する前記重送検知設定情報とに基づいて、画像形成時に前記重送検知処理を有効にするか否かを決定する制御手段と、  
 を備えることを特徴とする、

画像形成装置。

【請求項2】

前記制御手段は、画像形成に使用するシートの種類に対応する重送検知設定情報が前記自動モードに設定されている場合、前記シートの特性情報と前記格納手段に格納されている設定とに基づいて画像形成時に前記重送検知処理を有効にするか否かを決定し、画像形成に使用するシートの種類に対応する重送検知設定情報が前記オンモードに設定されている場合、前記格納手段に格納されている設定に拘わらず画像形成時に前記重送検知処理を有効にすることを決定し、画像形成に使用するシートの種類に対応する重送検知設定情報が前記オフモードに設定されている場合、前記格納手段に格納されている設定に拘わらず画像形成時に前記重送検知処理を無効にすることを決定することを特徴とする、

請求項1記載の画像形成装置。

## 【請求項 3】

更に、前記シートが収容されるトレイを備え、前記トレイに前記シートが収容される際に前記設定手段により前記用紙設定情報が登録されることを特徴とする、請求項 1 又は 2 記載の画像形成装置。

## 【請求項 4】

前記トレイは複数設けられ、前記用紙設定情報は、複数の前記トレイを識別する識別情報に対応付けて前記設定手段により登録され、前記制御手段は、画像形成の指示があると、該指示に応じたトレイの識別情報に対応付けられた用紙設定情報を取得することを特徴とする、請求項 3 記載の画像形成装置。

## 【請求項 5】

前記設定手段は、シートに関する用紙銘柄情報を登録可能であり、ユーザにより選択された前記用紙銘柄情報が前記用紙設定情報として登録されることを特徴とする、請求項 3 記載の画像形成装置。

## 【請求項 6】

前記設定手段は、登録済みの前記用紙銘柄情報に対応する前記重送検知設定情報を変更可能なことを特徴とする、請求項 5 記載の画像形成装置。

## 【請求項 7】

前記制御手段は、前記シートを収容するトレイが一つの場合に、画像形成の指示があると、先頭のシートに対して前記重送検知処理を行うか否かを決定し、2 枚目以降のシートに対しては前記先頭のシートに対する決定結果を使用することを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項記載の画像形成装置。

## 【請求項 8】

前記重送検知手段は、超音波を発信する発信手段及び前記発信手段から発信された前記超音波を受信する受信手段を備え、前記受信手段が受信した前記超音波の強度に応じた受信レベルの検知信号を検知結果として出力することを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項記載の画像形成装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の画像形成装置は、搬送パスを搬送されるシートに画像を形成する画像形成手段と、シートが複数枚重なって搬送される状態を検知する重送検知処理を行うための重送検知手段と、シートの種類に対応して、前記重送検知処理を有効にするか或いは無効にするかの設定が予め格納される格納手段と、選択肢として前記格納手段に格納されている設定に基づいて前記重送検知処理を有効にするか否かを決定する自動モードと前記格納手段に格納されている設定に拘わらず前記重送検知処理を有効にするオンモードと前記格納手段に格納されている設定に拘わらず前記重送検知処理を無効にするオフモードとを含む重送検知設定情報、及び画像形成に使用するシートの特性に関する特性情報を含む用紙設定情報を設定する設定手段と、画像形成に使用するシートの種類と該シートの種類に対応する前記重送検知設定情報とに基づいて、画像形成時に前記重送検知処理を有効にするか否かを決定する制御手段と、を備えることを特徴とする。